

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

平成27年度 第2回総会議事録

平成28年1月18日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
平成27年度第2回総会議事録

場 所：ふくしま中町会館 6階「北会議室」
日 時：平成28年1月18日 午後1時15分～

議事の経過及び内容

午後1時15分、遠藤康浩 事務局長（JA福島中央会 農業対策部長）の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1 あいさつ

川上雅則会長（JA福島中央会 常務理事）

2 議長選出

事務局長から、慣例により会長が議長を務めることを提案、議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入る。

3 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人及び書記の選任について議場に諮り、議長一任の意見があり全員異議なく、議事録署名人に福島第一食糧卸協同組合専務理事の山崎重光様及び福島県担い手育成総合支援協議会会長の河嶋耕様を、書記には事務局を選任した。

4 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、本人出席者10名、委任状提出1名となり、総会の定足数に達したことを報告。

5 報告事項

報告事項1 「平成27年度上期内部監査の結果について」

議長より「報告事項1」について報告を求められ、事務局長より内部監査の結果を報告した。

議長より議場に意見又は質問を求めたが質疑がなく、議事に移った。

6 議事

議案第1号「28年産米生産数量目標の地域間調整の取り組みについて（案）」

議長より、「議案第1号」について、事務局からの説明を求められた。

事務局長より、28年産米生産数量目標の地域間調整の取り組みについて、「福島県水田農業産地づくり対策等推進会議」として県間調整は実施しない、3月末までに地域間調整の数量を決定し、決定通知後の数量変更は認めない、調整料金については、27年産米の需給・価格動向等を踏まえ20円/kgとする旨説明した。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ「異議なし」との発声があり、挙手による採決で全員賛成のため「議案第1号」は可決承認された。

議案第2号「28年度産地交付金について（案）」

議長より、「議案第2号」について、事務局からの説明を求められた。

福島県水田畑作課芳見課長より、平成28年度産地交付金について、国から県への配分方法が変わり2回に分けての交付となり、当初配分額は全体の8割（973百万円）となるが、満額配分（1,216百万円）を前提として県域枠を設定。飼料用米を推進の柱として28年産米の生産数量目標達成を目指すとし、全県挙げての取組推進が必要であることから、当初配分から飼料用米助成（一般品種）10,000円/10a以内（計画面積4,000ha、21,680㍎）を措置。また、各地域協議会においても飼料用米（一般品種）に対して5,000円/10a程度の交付金を設定するよう要請し、県域枠の交付額が減額調整になった場合でも、県域枠と地域枠の合計で10,000円/10a程度が確保できるようにすると説明した。

また、酒造好適米の純増分に対して、新たに産地交付金を設定すると説明した。5,000円/10a以内（計画面積20ha、105㍎）

議長より議場に意見又は質問を求めたところ「異議なし」との発声があり、挙手による採決で全員賛成のため「議案第2号」は可決承認された。

議案第3号「平成27年度歳入歳出補正予算（案）について」

議長より、「議案第3号」について、事務局から説明を求められた。

事務局長より、水田農業改革支援事業補助金の事業実施計画が確定したため5,000千円の減額となり、稲作農業体質強化事業補助金の平成26年度分返還分を全体の交付決定額として全額活用するため2,041千円の増額となるの旨の説明をした。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ「異議なし」との発声があり、挙手による採決で全員賛成のため「議案第3号」は可決承認された。

議長よりすべての議案の審議を滞りなく終了したことへの礼を述べ、議長職を解かせていただくことを議場に告げ退席した。

8 閉会

午後1時45分、事務局長が本総会の閉会を告げた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議事録署名人がここに署名し、押印する。

平成28年1月18日

議長

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長

議事録署名人

福島第一食糧卸協同組合 専務理事

議事録署名人

福島県担い手育成総合支援協議会 会長